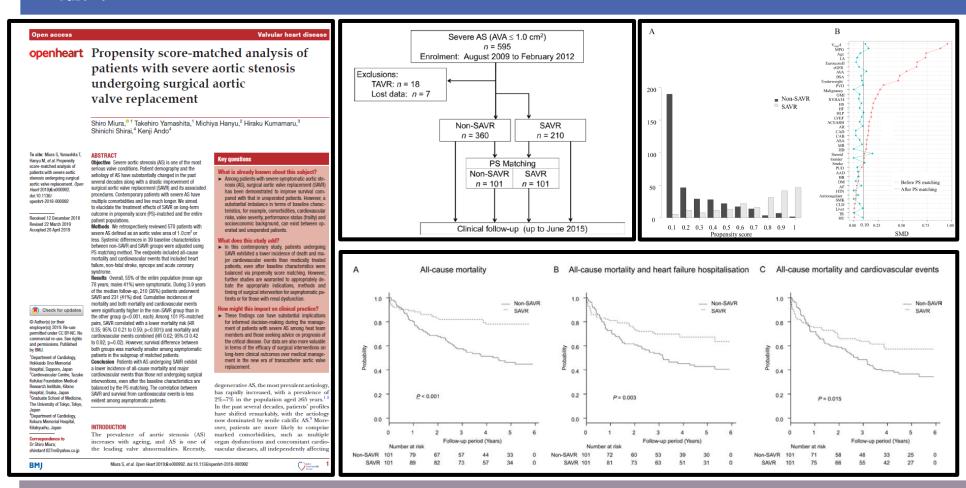
Propensity score-matched analysis of patients with severe aortic stenosis undergoing surgical aortic valve replacement

Shiro Miura, Takehiro Yamashita, Michiya Hanyu, Hiraku Kumamaru, Shinichi Shirai, Kenji Ando

論文紹介

- 近年日本でも、心臓弁膜症、特に大動脈弁狭窄症の患者さんは高齢者を中心に年々増加の一途です。
- 大動脈弁狭窄症とは経時的に大動脈弁の開放が制限されて狭くなった状態を指し、進行しますと息切れ、狭心痛や失神などの症状を呈し、外科的弁置換術を必要とする場合があります。
- ・当院では、重症大動脈弁狭窄症に対する数多くの外科的弁置換術のみならず、近年開発されました最新の治療であります (胸を開けない) 経力テーテルによる大動脈弁留置術も導入され、良好な成績を収めています。
- 本論文は、重症大動脈弁狭窄症の患者様の予後データに特殊な統計解析方法を用いまして、外科的弁置換術の有用性や手術リスクを検討し、どのような患者様が特に弁置換術の恩恵にあずかれるかを研究したものです。

論文



医師紹介



三浦 史郎 医師 (みうら しろう)

【現職】

社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院 医長

【経歴】

九州大学医学部医学科 沖縄県立中部病院 初期後期研修 社会保険小倉記念病院循環器科勤務 英国サウザンプトン大学大学院 (修士号:医療統計学)

【専門医等】

日本内科学会総合内科専門医

日本循環器学会専門医

日本心血管インターベンション治療学会CVIT 認定医

SHD心エコー認定医

Japanese Board of Perioperative

Transesophageal Echocardiography (JB-POT) 認定医

浅大腿動脈ステントグラフト実施医

植込み型除細動器 (ICD)

ペーシングによる心不全治療(CRT)研修修了

